

福島教区報

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教会数 98ヶ所
布教所数 91ヶ所
教人数 664人
(R184年12月末現在)

教祖年祭に向かつて『ようぼく一斉活動日』を開催

教祖140年祭活動の一環として、今年秋から再来年にかけて「ようぼく一斉活動日」が設けられることとなり、福島教区(平澤勇一教区長)では、3月2日の教区例会に合わせて、これについての本部巡回を受けた。

当日は、平澤教区長をはじめ、教区役職者、支部長ら30

人が参加。本部たすけ委員会の諸井道隆委員から「一斉活動日」の主旨と開催要項の説明がなされた。これは教祖140年祭へ向かう三年千日において、同じ地域に住まうようばくが互いに励まし合い、勇ま

せ合って、それぞれの教会や個人の年祭活動に弾みをつけ

ることを目的とするもので、主催は教会本部、参加対象は地域(支部)在住のようばくととなっている。教区・支部の運営のもと、全支部で拠点教会を設定し、これを会場とするとなっている。内容は、お

つとめと「諭達第四号」拝読、ビデオメッセージのほか、会場ごとに設定したプログラム

(1)



【参加対象】 ようぼく

【開催日時】

- 第1回 立教186年10月29日(日)
 - 第2回 立教187年6月1日(土)、2日(日)
 - 第3回 立教187年11月3日(日)、4日(祝)
 - 第4回 立教188年5月31日(土)、6月1日(日)
 - 第5回 立教188年11月1日(土)、2日(日)
- ※第2回以降はどちらかの日を選んで開催

【参加御供】 300円

【会場】 全支部で会場を設定する

(ひのきしん、講話、感話、懇談・ねりあいなど)を実施する。日程は年祭活動期間中(立教186年から188年まで)に計5回、全会場、同じ日に実施される。第1回は、今年10月29日に行われる。

その後、質疑応答の時間が設けられ、開催日や自主プログラムの内容の変更など実務面での詳細について確認した。

立教 186 年度 各部・各会 活動方針 及び 活動計画

布教部

部長 生江一行

【活動方針】

「神一条、よろこび一条、たすけ一条」
年祭活動 1 年目の今、喜びの心でこの道を通らせていただきましょう。
教会は地域活動を通し、初参拝者をご守護いたどころ。

教祖 140 年祭に向かう三年千日。同じ地域に住むようぼくが、お互いに励まし合い、勇ませ合って、それぞれの教会や個人の年祭活動を推し進められるようつとめていく。

- ・ ようぼく一斉活動日の推進
 - ・ 「みおしえ学習会」各支部開催
 - ・ 教区祭典後よろづよ八首奉唱
- 「世界の平和と人々の幸せを願い祈ります」

婦人会

主任 平澤栄美

【成人目標】

「ひながたをたどり 陽気ぐらしの台となりましょう」

【活動方針】

教祖 140 年祭に向かって

育つ努力、育てる丹精に徹しよう

・ 元なる思召を伝え広めよう

・ 老いも若きもおたすけの喜びを味わおう

年祭の元一日に籠る教祖の親心をたすね、心に治めて、精一杯お応えさせていただきましよう。

【今年の主な活動】

6 月 3 日 教区婦人会総会

11 月 3 日 教区婦人の集い

教区婦人会活動にご協力お願い申し上げます。

青年会

委員長 平澤信行

【基本方針】 「心を澄ます毎日。」

本年度より委員長をさせていただくことになりました。
今年の青年会の基本方針は「心を澄ます毎日。」

と発表になりました。心が澄んでいるとはどういう状態なのか、また心を澄ますためにはどうしたらいいのか。それを知るために教理の理解を深める必要があると思います。教理を勉強する機会を設けたいと思っています。また、今まで青年会が行ってきたひのきしんも実践の場として継続的に行っていききたいと思っています。

来る5月3日、4日には、福島教区青年会主導で『青年会東北ブロック大会』が開催されます。一人でも多くの青年会員、女子青年会員に参加していただきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

まだまだ足りない所もございますが、勇んで活動して参りますので、引き続きご指ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。

少年会

団長 近藤直光

皆様には、少年会活動の上にご理解・お力添えを賜り誠に有難うございます。年祭活動始めの年に当たり、教祖にお喜びいただけるよう、子供達に信仰の有り難さを伝え、立派なようばくに成人の歩みを進められるように、育成会員共々に勤めさせていただきますので、何卒宜しくお願い致します。

【活動方針】

『教祖のひながたを目標に教えを実践し、

子供に信仰のありがたさを伝えよう』

【重点項目】

- ・ 子供に教祖のお話をしよう
- ・ 教会こども会を実施しよう
- ・ 地域で少年会ひのきしんを実施しよう

【こどもおぢばがえり】

一人でも多くの子供と

おぢばがえりの喜びを味わおう！

【今年の主な活動】

○7月～8月 少年ひのきしん隊本部練成会

○8月18日～19日 キャンプ練成会

その他、わかぎ練成会、親子ひのきしん等の計画をさせていただきます。

(3)

学生担当委員会

委員長 國分一志

【基本方針】

「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」

教祖140年祭に向かうこの旬に、まずは先に道を進む私たちが、教祖を慕い、教えをしつかりと心に治めて、この信仰のありがたさとひながたを辿る喜びを学生たちに伝え、陽気ぐらしに向

かうこの道を学生と共に歩んでいきたい。

【実践項目】

- 一、教祖のひながたを学び深め、学生に伝えよう
- 一、学生のために使う時間を増やそう
- 一、教祖年祭の意義を伝えよう

【今年の主な活動】

- 8月18～19日 高校生の集い「まなびば」
国立磐梯青少年交流の家
- 9月中旬 道の学生ひのきしんDAY
- 3月28日 春の学生おぢばがえり

基礎講座事務局

事務局長 古関清人

天理教の紹介とその教えを通して、人間本来の幸せな生き方を考える講座です。講師のお話、ビデオではじめて天理教の教えを聞く人にも分かりやすく説明しています。

是非、にをいがけの手立てとしてご活用下さい。

6月18日(日) いわきラトブ 生江一行先生

9月3日(日) 福島テルサ 平澤勇一先生

11月19日(日) 喜多方プラザ 杉澤元和先生

災害救援 ひのきしん隊

隊長 荒井弘徳

天理教災害救援ひのきしん隊(災救隊)は全国規模の災害救援組織です。災害の頻発する昨今、教区隊としましては、日頃からひのきしんに励み、訓練を重ね、技術の向上と隊員同士のつながりを深めて、有事に備えていきたいと思えます。これからもご協力のほど、よろしくお願い致します。

厚生部

部長 杉澤元和

おたすけの実践

年祭活動始まりの今、一れつきようだい、互いたて合い、たすけ合いのみ教え通り、地域でのおたすけの実践をすすめて参ります。

昨年は「献血推進研修会」を開催し、今年4月の教区祭時に移動採血車を準備して献血ひのきしんをつとめさせていただきます。

「ひのきしんは人のためや世間相手ではなく、親神様への信仰態度を示すもの。また、ひのきしんがでない者はおたすけ人でない。」と聞かせていただきます。私たちのおたすけの一助となるよう、今年10

月1日、教務支庁を会場に「傾聴」の「ひのきしんスクール」を開催します。必ずおたすけに活用できるものからです。ぜひご受講ください。

【今年の主な活動】

- 4月2日 移動採血車を呼んでの献血
- 10月1日 ひのきしんスクール「傾聴」

道友社

代表社友 関本 啓

道友社では教祖140年祭に向けて全教の人が一手一つに進むことのできるよう教友同士をつなぐ手段の充実を図るとともに、布教活動の一助ともなるコンテンツを提供しています。昨年からの『天理時報』『天理いきいき通信』のリニューアルにつづき、新たな取り組みとして、スマートフォンやパソコンを使って『天理時報』や『みちのとも』に掲載の記事を閲覧できるサービス『天理時報オンライン』の運営が始まりました。いつでもどこでも時報・みちのともだけでなく、道友社発行の書籍も読むことができ、大変便利です。過去の記事検索もできる年間6,000円のプライムプランがお勧めです。無料でも一部記事は読むことができます。これらの活用推進が今年の命題です。よろしくお願いいたします。

道の 教職員の集い

代表世話人 斉藤元康

昨年より、ご本部の布教部を離れての活動となりましたが、近畿地区の有志が中心となつて全国事務局を立ち上げ、福島教区を含めた全国36教区が加盟しました。そして、今年は活動の目玉でもある「夏の集い」を4年ぶりにおぢばで開催します。

また、福島教区としても、現会員の活動の活性化と新会員募集のうえから、天理高校野球部監督の中村良二氏を講師として12月に「きょういく講演会」を開催いたします。

道の教職員の活動の上に、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。(5)

【行事案内】

8月7日～8日 第64回道の教職員夏の集い

夏休み期間中 成人塾

12月2日 きょういく講演会

★新規会員募集中★



教務部

「法人実務研修会」開催

3月1日(水) 度であり、しつかり活用
教務部(渡辺正 するとともに、制度を守
彦部長)では、 ることが私たちの使命で
教務支庁で「法 ある。」と述べ、宗教法人

人実務研修会」を開催。本
部の教務課宗教法人課長・
清水国朝先生を講師に迎
え、27名が参加した。

「講義1宗教法人の基礎
知識」の冒頭、「長い期間
安定して宗教活動をしてい
こうと思うとありがたい制



「何よりも法人として信用
を失うことが痛手」とし
て、諸書類についてそれ
ぞれ説明をした。「講義3
宗教法人の会計」では、
予算決算について説明し、
公私の区別をしつかりつ
けるようにと強調した。
「講義4最近の宗教事情」
では、最近の旧統一教会
被害者救済法に対する注
意点などを述べ、「今後、
教会運営の透明性が求め
られている」と、法人実
務の着実な実行を促した。

災救隊

教区祭に向けて

「教務支庁整備ひのきしん」実施

災救隊(荒井 所、2階客間などの障子
弘徳隊長)では、 戸の障子をはがした。
3月18日(土)、 翌日は、きれいにはが

19日(日)、内統領先生を
お迎えして開催される教区
祭に向けて、教務支庁の整
備ひのきしんを実施し、17
名の隊員が参加した。

18日午後に教務支庁に集
まった隊員は、寒の戻りで
みぞれ舞う中、神殿、事務



された障子の棧に、真新
しい障子紙を1枚1枚丁
寧にはっていった。また、
手の空いた人は、窓を拭
いたり、廊下の雑巾がけ
をするなど、建物内の清
掃を行った。



学生会

「春の学生おぢばがえり」8名参加

3月28日の「春の学生おぢばがえり」式典に向けて、福島教区学生担当委員会（國分一志委員長）では、26日から29日にかけてツアーを組み、学生8名、スタッフ4名、その他7名が参加した。



26日夜おぢばに到着した参加者は、翌27日午前、別席を運んだり、神苑内を案内してもらった後、大阪へ移動。食い倒れの街で、お互いの親睦を深めながら食を楽しんだ。夜にはライトアップされたおぢばの桜を観て、思い思いに写真を撮ったりした。

28日10時からの式典では、中田善亮・表統領先生が真柱様のメッセージを代読。「教祖の年祭は心の成人に励む節目の時」として、「学生としてどう成人を進めるかを考えてほしい」と望まれた。その後、2人の学生による「道の学生の歩み」に真剣に耳を傾けた。午後は、それぞれに「直属アワー」に参加し、夕刻には帰路についた。

各地で「みおしえ学習会」開催

会津支部、いわき支部で開催

布教部で全支部開催を推進している「みおしえ学習会」が、会津支部、いわき支部でそれぞれ開催された。

会津支部（杉澤元和支部長）では、3月17日、会津若松市勤労青少年ホームで「十全の守護」をテーマに開催。12名が参加した。ファシリテーターは、荒井弘徳氏（安達分教会長）と斎藤峻徳氏（安達分教会教人）が務めた。



いわき支部（梅井真治支部長）では、3月18日、磐城平大教会で「十全の守護」をテーマに開催。22名が参加した。ファシリテーターは、平澤信行氏（磐城平大教会教人）と平澤健太氏（田村分教会教人）が務めた。



（梅井真治支部長）では、3月18日、磐城平大教会で「十全の守護」をテーマに開催。22名が参加した。ファシリテーターは、平澤信行氏（磐城平大教会教人）と平澤健太氏（田村分教会教人）が務めた。

立教186年4月2日(日) 於・福島教務支庁

福島教区
教区祭式次第

一、おつとめ

座りづとめ 主事・各支部長・教区婦人会

よろづよ八首 学生会・青年会・女子青年

一、二下り目 学生会・青年会・女子青年

三、四下り目 福島支部・安達支部

五、六下り目 郡山支部・田村支部

七、八下り目 会津支部

九、十下り目 耶麻支部

十二、十二下り目 いわき支部・相双支部

一、記念講演 講師 内統領・宮森与一郎先生

一、御礼参拝・教区長あいさつ

一、歌「親神様の守護」斉唱

昼食(弁当)

献血への協力

一、祭儀式 教区長祭文奏上

立教186年 全教一斉ひのきしんデー

テーマ「成人の旬 一手一つにひのきしん」

～日々の実践につなげよう～

◎福島教区管内ひのきしん会場◎

(3月31日現在)

福島	福島教務支庁	4月29日	9:30～11:30
安達	県立霞ヶ城公園	4月29日	10:00～11:00
郡山	猪苗代湖舟津浜湖水浴場	4月29日	10:00～11:30
田村	三春町町内ゴミ拾い	4月29日	10:00～12:00
耶麻	猪苗代町内、お城山公園	4月29日	14:00～15:00
	熊野神社境内	4月29日	9:30～11:00
	桜ヶ丘公園	4月29日	9:30～11:30
会津	会津若松市少年の家	4月29日	9:30～11:30
いわき	いわき市松ヶ岡公園	4月29日	9:00～12:00
相双	JR新地駅	4月29日	6:00～7:00

○新型コロナウイルスの感染状況により、予定が変更になる場合がございます。参加前にお近くの教会、または「教区・支部情報ねっと」で最新の情報をご確認下さい。

○教祖140年祭へ向かう三年千日の初めの年にふさわしい「デー」となるよう、一人でも多くのご参加をお願いします。また、年に一度の動きにとどまることなく、常時の地域活動へのご参加もお願いします。

